

令和7年度

神林スポーツフェスティバル

74人
参加



NEW

シャッフルボード

11月16日(日)に令和7年度神林スポーツフェスティバルが開催され、スポーツを楽しみながら、交流を深めました。

80人
参加



67人
参加



NEW

スマイル
ボウリング

74人
参加

グラウンドゴルフ

60人
参加



モルック

74人
参加

ボッチャ・わなげ

72人
参加

囲碁ボール



61人
参加

体力測定

鎖川

最近、「拭く活」という言葉を知った。掃除は苦手だが、おすすめ動画に表示されたタイトル「拭く活」がなぜか気になりました。拭く活には特別なルールはなく、毎日の小さな積み重ねで住まいを居心地よく整えていきましょう。というもので、手を動かすことでストレス発散になり、心が整う「心のリセット」効果が期待できるそうだ。その方は「頭を空っぽにして目につけた場所を光輝かせるように無心で拭く。集中力が高まる。磨きながら心も整っていく。今までの拭き掃除では得られなかつた感覚だった。」と話していた。

拭く活の発信者の方は「三日坊主で終わってしまうと悩む方に向けて「三日坊主」ではなく「三日習慣」と捉え、「最低限、3日間まずやってみると、やがてそれが習慣として定着していくはずです」と話していた。三日習慣であれば出来そう!とやる気が出たのではないか。皆さんも拭く活(=福活)を暮らしに取り入れ、住んでいる家を大事にそして多くの福を呼び込みましょう。

地区新年祝賀会爽やかに

1月3日、令和八年神林地区新年祝賀会、各種代表29人が参集し、10時に神林公民館大会議室で行なった。挨拶で

神林地区町会連合会長の森村卓雄氏は「午の如く後ろもみずい神林らしい物を企画して行きたい」と抱負を述べ、地区相談役の上條温市議会議員は「これ迄の五つの課題の進捗状況を話し、市議会の情報改革度が全国4位になつた」と結ばれた。塩原農業委員は「今、神林の農地・農業が減り

始め10年後を見据えて研修会を行なう予定だ」と話した。

その後、恒例の「神林の歌」を二番迄、歌詞を見ながら大合唱で「七区の契り」を歌



さき声で「い、最後三唱の意味のひとくさりを語ると、ありつたけの声で三唱し散会した。6月に小さな種をまいてから、一週間ほどで芽が出てきました。その後、夏の間にどんどん大きくなり、8月には紫色のかわいい花が咲き、9月になるとさやが膨らんでいきました。成長する過程を自分の目で見ることで、命がどのように育つのかを学びました。

11月に自分たちで育てた大豆を収穫したとき、そして12月にそれを使って豆腐を作ったときの喜びは、何ものにも代えがたいもので、子どもたちが力を合わせて取組むことで、本当に逞しくなったようになります。

Y・Sさん（南荒井）

二十歳という大きな節目を迎える、期待と責任を強く感じています。変化の激しい時代ですが、一歩ずつ自分の足で歩んでいこうと思います。今後は大人として視野を広げ、多方面で活躍できるよう頑張っていきたいと思っていました！』と声があがりました。

この約7ヶ月間で、命の大切さ、農業の大変さ、神林地区の自然の素晴らしさを学ぶことができた子どもたち。

室を飛び出し、苦労しながら

これからも温かく見守っていただければ幸いです。

ただければ幸いです。

ただ